第4章関連

資料 19 本市で確認された絶滅のおそれのある動物・植物

本市で確認された絶滅のおそれのある動物・植物を示します。

分類群			絶滅のおそれ		主な種		
			のある種				
			種類	割合			
哺乳類		25	9	36%	オヒキコウモリ、ムササビなど		
鳥類		288	78	27%	ササゴイ、フクロウなど		
両生類		9	5	56%	アカハライモリ、トノサマガエルなど		
爬虫類		13	2	15%	ニホンイシガメなど		
汽水·淡水魚類		48	20	42%	ニッポンバラタナゴ、ムツゴロウなど		
	トンボ目	67	25	37%	ウチワヤンマ、コフキヒメイトトンボなど		
虫類	カメムシ目	7	1	14%	エゾハルゼミ、ヒメミズカマキリなど		
	コウチュウ目	119	5	4%	セスジゲンゴロウ、トラフカミキリなど		
	チョウ目	71	4	6%	ツマグロキチョウ、クロシジミなど		
クモ類		209	3	1%	キシノウエトタテグモ、キムラグモ類など		
陸産·淡水産貝類		64	20	31%	コベソマイマイ、マツカサガイなど		
ž	炎水産無脊椎動物	167	18	11%	ミドリビル、ヒゴスナウミナナフシなど		
	合計	1,087	190	17%			
シダ植物		138	13	9%	マツバラン、ヒメウラジロなど		
物種子植物		1,246	150	12%	ヒメバイカモ、トダスゲなど		
	合計	1,384	163	12%			
	類	哺乳類 鳥類 両生類	哺乳類 25 鳥類 288 両生類 9 で虫類 13 「た水・淡水魚類 48 トンボ目 67 カメムシ目 7 コウチュウ目 119 119 71 7 に類 209 陸産・淡水産貝類 64 淡水産無脊椎動物 167 合計 1,087 シダ植物 138 種子植物 1,246	イェダ イェ	種類 割合 1月		

資料:熊本市生物多様性地域戦略改定に向けた基礎調査【令和3年(2021年)3月】

資料 20 本市で確認された特定外来生物

本市で確認された特定外来生物を示します。

	種名		生育·生息場所								
分類			江津湖	緑川· 加勢川	立田山	白川	金峰山	雁回山	その他		
	ナガエツルノゲイトウ		0	•		•					
	アレチウリ		0	•		0			0		
	オオフサモ		0	•	●※						
	ブラジルチドメグサ		0	•	●※						
植物	オオカワヂシャ		0								
1121//	オオキンケイギク		0			0			0		
	オオハンゴンソウ								0		
	スパルティナ					0			0		
	ボタンウキク	サ	0	0							
	種数	9種	7種	5種	2種	4種	-	-	4種		
哺乳類	アライグマ		•	•			•	•	0		
明子山大貝	種数	1種	1種	1種	-	-	1種	1種	1種		
	ガビチョウ			•					0		
鳥類	ソウシチョウ		0		0				0		
	種数	2種	1種	1種	1種	-	-	-	2種		
爬虫類	カミツキガメ		0								
灰出外	種数	1種	-	-			-	-	-		
両生類	ウシガエル		0			0					
土)	種数	1種	-	-		1種	-	-	-		
	カダヤシ		0	0	●※						
魚類	ブルーギル		0	0	●※						
思規	オオクチバス		0		●※						
	種数	3種	3種	2種	2種	1種	-	-	-		
昆虫類	セイヨウオオマルハナ バチ		0	•	0				0		
	種数	1種	1種	1種		-	-	-	1種		
力工米五	セアカゴケクモ								0		
クモ類	種数	1種	-	-	-	-	-	-	1種		
	合計 種数	19 種	15種	10種	7種	6種	1種	1種	9種		

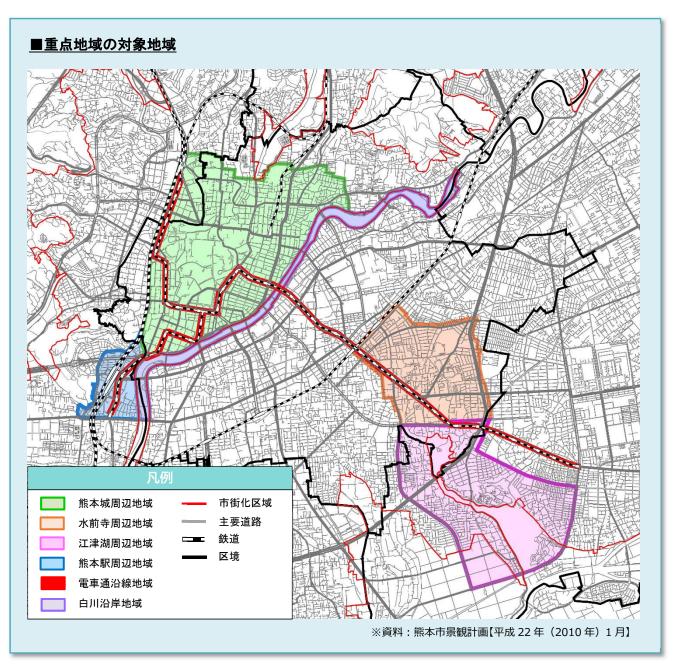
資料:熊本市生物多様性地域戦略改定に向けた基礎調査【令和3年(2021年)3月】

●は平成 27 年度の基礎調査以降に追加されたもの

※は熊本市博物館へのヒアリングを基に追加

資料 21 熊本市景観計画重点地域

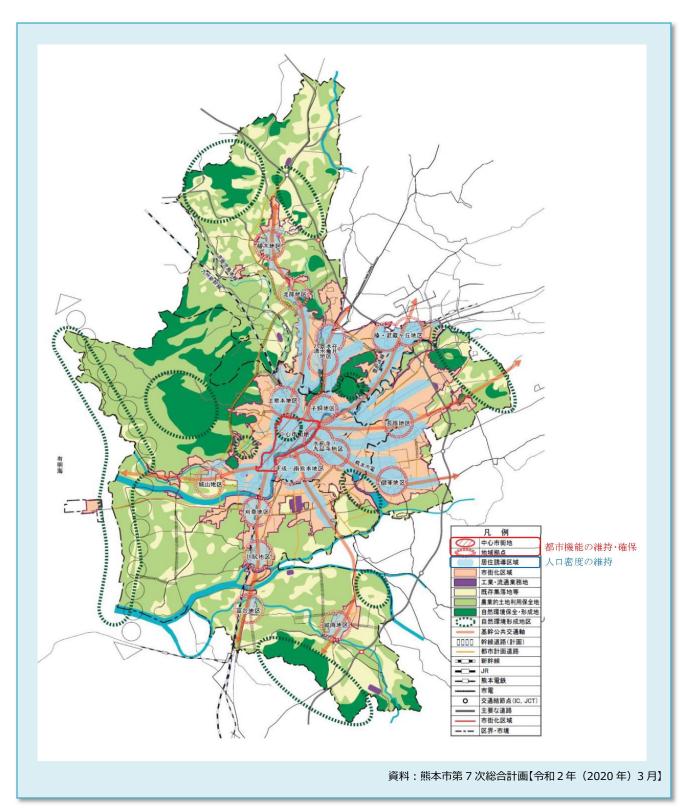
「熊本市景観計画」では、景観計画区域は市域全域となっており、ゾーンと軸においてそれぞれ景観形成方針が 定められています。また、本市の景観形成を先導する重点地域として、「熊本城周辺地域」、「水前寺周辺地域」、 「江津湖周辺地域」、「熊本駅周辺地域」、「電車通沿線地域」、「白川沿岸地域」において景観形成方針が定 められています。本計画においても、これらの景観形成方針のもと森林、田園、街路樹、河川敷等の緑を活かした 景観形成を図り、計画の整合を図っています。



第5章関連

資料 22 将来の都市づくりの姿 <将来構成図>

「熊本市第7次総合計画」、「第2次熊本市都市マスタープラン」、「熊本市立地適正化計画」では多核連携都市の実現に向けて、中心市街地、地域拠点、生活拠点を核とし、それらを結ぶ利便性の高い鉄軌道やバスなどの公共交通で結ばれ、生活圏が相互に連携した都市構造を目指しています。本計画においても中心市街地、地域拠点、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸を緑化重点地区とし、計画の整合を図っています。



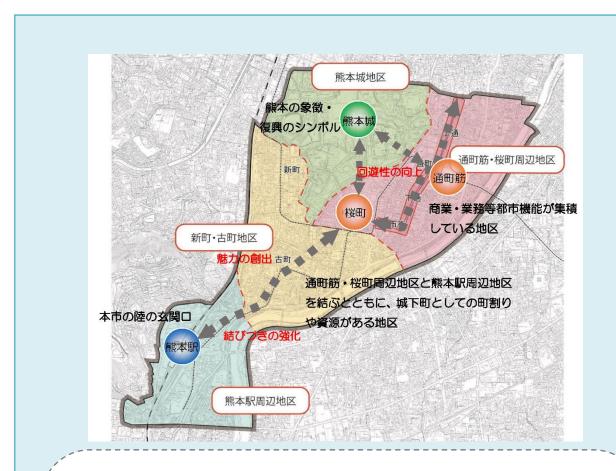
資料 23 自然環境保全の方針図

「第 2 次熊本市都市マスタープラン」では、金峰山系、田原坂、立田山、託麻三山、花岡山・万日山、雁回山、江津湖、熊本城などを緑の拠点とし、白川、緑川、加勢川、浜戸川、合志川、坪井川、井芹川と街路樹を緑の骨格軸として位置づけています。本計画においても、これらの緑の拠点や緑の骨格軸を基に、将来像における4つのゾーンと骨格となる水と緑のネットワークを設け、計画の整合を図っています。



資料 24 中心市街地の区域及び地区

「熊本市中心市街地活性化基本計画(熊本地区)」では、「熊本城地区」、「通町筋・桜町周辺地区」、「新町・古町地区」、「熊本駅周辺地区」を一体的に活性化していくことから、これらの区域を中心市街地と設定しています。本計画においても、区域内で進められている施策と連携を図った計画とし、整合を図っています。



熊本城地区 : 平成 19 年に築城 400 年を迎えた熊本城を中心に県立美術館等の文

化施設や複数の都市公園等があり、多くの観光客が訪れるとともに、市民

の憩いの場としても利用されている地区。

通町筋・桜町周辺地区:商業・業務集積が特に高い地域であり、交通センターをはじめ交通機能の

集積がみられるほか、公共公益施設が立地するなど中心市街地の核とな

る地区。

新町・古町地区 : 呉服町、紺屋町、細工町などの地名や加藤清正の造った「一町一寺」の

町割り、西南戦争以降に復興した「町屋」や史跡など歴史と伝統が残る

地区。

熊本駅周辺地区 : 東西駅前広場やアクセス道路等の整備、市街地再開発事業や土地区

画整理事業などの「市街地の整備改善」を推進し、交流拠点としての機

能向上に努めており、陸の玄関口として重要な地区。

資料:熊本市中心市街地活性化基本計画(熊本地区)【令和2年(2020年)7月30日修正】

資料 25 緑化重点地区(中心市街地) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の中心市街地区域と、平成 30 年度(2018年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査(サンロード新市街出入口付近④)

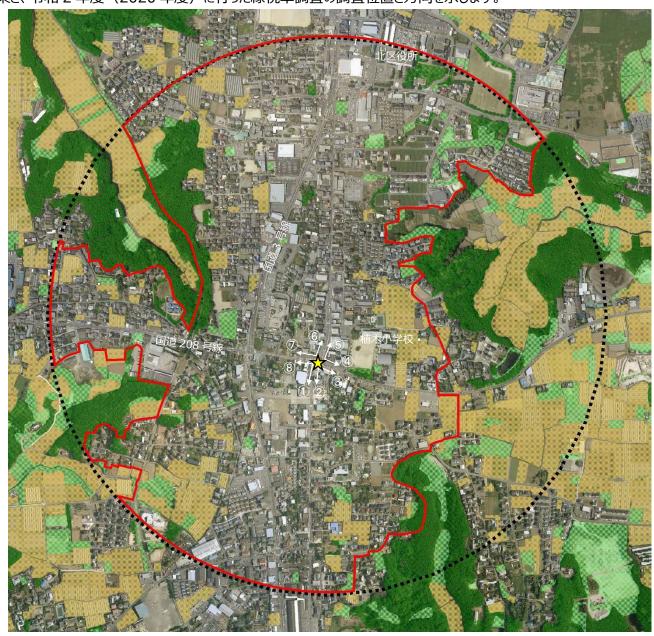


緑視率調査 (通町交差点①)

八例 ・・・・・中心市街地区域 都市機能誘導区域 H30 緑被率調査 A:人工林・自然林・竹林 B: 果樹園・野草地 C: 水田・畑 D: 裸地・水域 R2 緑視率調査 ☆ 緑視率調査箇所

資料 26 緑化重点地区(植木地区) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の地域拠点(植木地区)区域と、平成 30 年度(2018 年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020 年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査(植木④)



緑視率調査(植木⑧)

凡例

••••• 地域拠点区域

── 都市機能誘導区域

H30 緑被率調査

A:人工林·自然林·竹林

B: 果樹園·野草地

C: 水田·畑

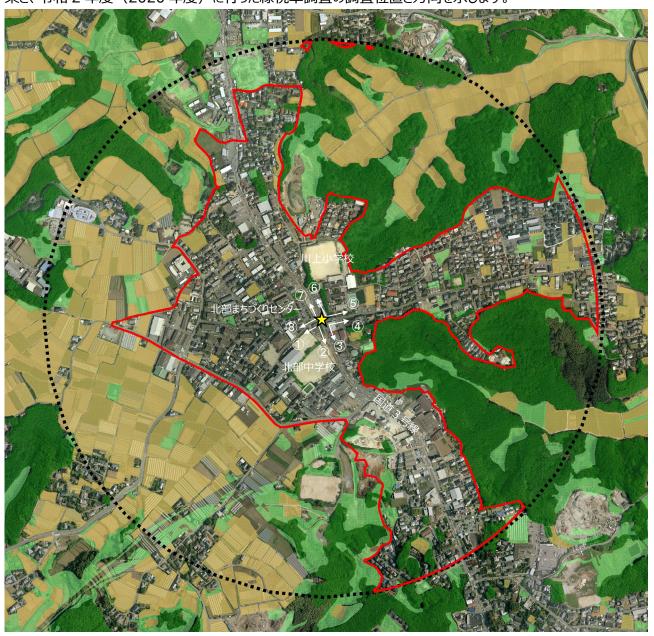
D: 裸地·水域

R2 緑視率調査

☆ 緑視率調査箇所

資料 27 緑化重点地区(北部地区) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の地域拠点(北部地区)区域と、平成 30 年度(2018 年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020 年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査(北部⑦)

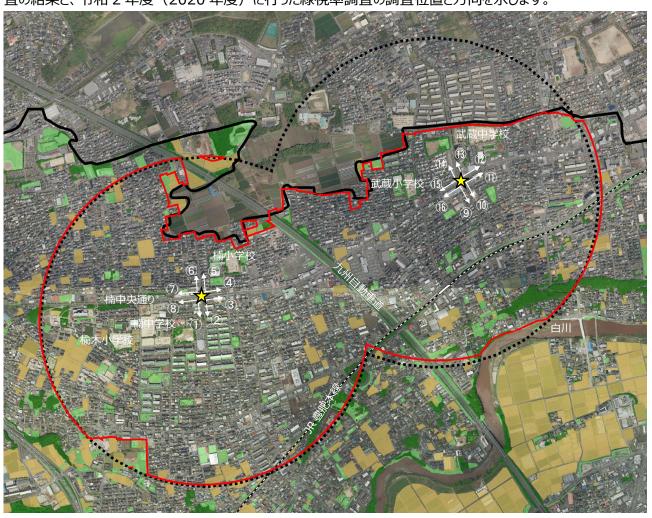


緑視率調査(北部®)



資料 28 緑化重点地区(楠・武蔵ヶ丘地区) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の地域拠点(楠・武蔵ヶ丘地区)区域と、平成 30 年度(2018 年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020 年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査 (楠・武蔵ヶ丘④)

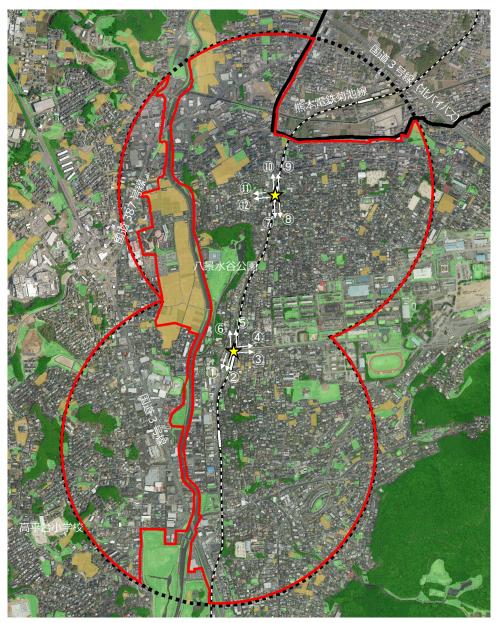


緑視率調査 (楠・武蔵ヶ丘⑬)

凡例 地域拠点区域 都市機能誘導区域 H30 緑被率調查 A:人工林·自然林·竹林 B: 果樹園·野草地 C: 水田·畑 D: 裸地·水域 R2 緑視率調查 森根率調查

資料 29 緑化重点地区 (八景水谷・清水亀井地区) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の地域拠点(八景水谷・清水亀井地区)区域と、平成 30 年度(2018 年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020 年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査 (八景水谷·清水亀井④)

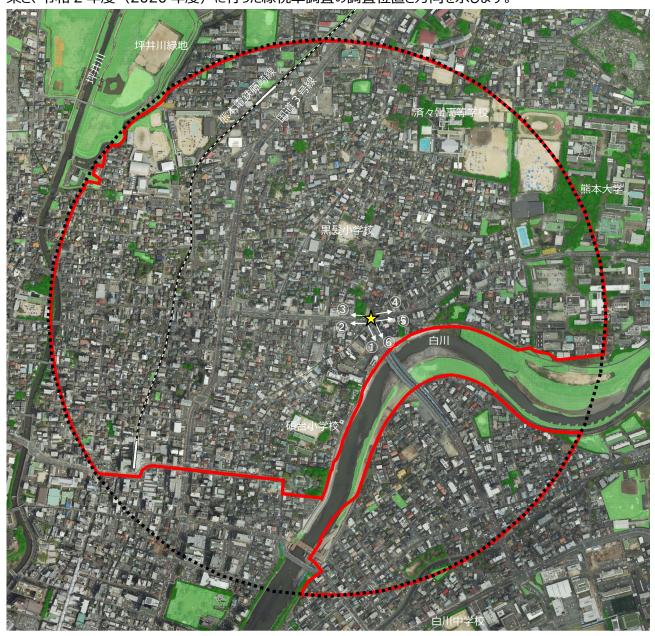


緑視率調査(八景水谷·清水亀井⑪)

八例 ・・・・・ 地域拠点区域 都市機能誘導区域 H30 緑被率調査 A:人工林・自然林・竹林 B: 果樹園・野草地 C: 水田・畑 D: 裸地・水域 R2 緑視率調査 ☆ 緑視率調査箇所

資料 30 緑化重点地区(子飼地区) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の地域拠点(子飼地区)区域と、平成 30 年度(2018 年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020 年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査(子飼①)



緑視率調査(子飼③)

資料 31 緑化重点地区(長嶺地区) 緑被率及び緑視率調査

緑化重点地区の地域拠点(長嶺地区)区域と、平成 30 年度(2018 年度)に行った緑被率調査の結果と、令和 2 年度(2020 年度)に行った緑視率調査の調査位置と方向を示します。



資料:熊本市航空写真【平成29年度】、熊本市立地適正化計画【平成28年度】



緑視率調査(長嶺①)



緑視率調査(長嶺③)

